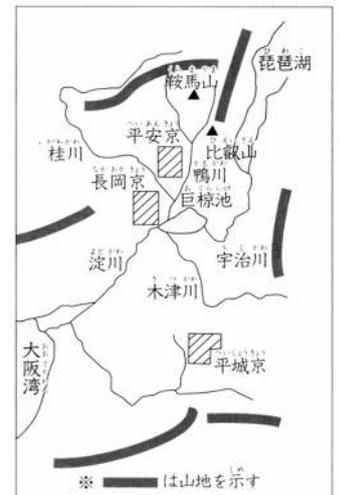


○平城京(奈良)から平安京(京都)へと都を移した理由 ○藤原氏の摂関政治のしくみ ○武士が台頭してきた理由をつかむこと。

### 784 桓武がたてた長岡京、平安京への78バジゴ

桓武天皇は、山背国(京都)に長岡京をつくりましたが、天皇のまわりで不幸が続く、それが早良親王(桓武天皇の実弟)で陰謀により淡路配流の途中で死亡の怨霊による祟りであるとされたことから、ここを捨てて新たに平安京をつくることとなります。天武天皇の血筋が栄えた都との絶縁も目的だったようです。このように、この時代の人々は、死者の祟りや穢れ、神の怒りなどを恐れ迷信に満ちていました。



## 平安時代

(1...年)

### 平安へ引越し禁止で坊さん逆94、桓武さん



(2...?天皇)が京都の平安京に都を移します。道鏡(僧)が天皇の位につこうとするなど、政治に口出しするまでになった仏教勢力を切りはなし、律令政治の立て直しを図る狙いがあったようです。

この後の約400年間を平安時代といい、東京に首都が移されるまでの約(3)年間もの間、京都が日本の首都になります。この地は、山と川(鴨川と桂川)にはさまれた地形で、面積は平城京とほぼ同じ、長安(唐)の3分の1の規模です。

都を移すところとして京都を選んだ理由を、地図を参考にして2つ答えなさい。

ヒント;この地の国の名前も山城の国と変えています。

守りのうえで... (記述1) 交通のうえで... (記述2)

また、この時代の朝廷が支配していたのは東北地方の一部まででした。そのため、東北全土も手に入れようとします。そこで、797年に坂上田村麻呂を初代の(4...役職名を漢字で)に任命し、東北地方に住んでいた(5...ひらがな可)を討伐させます。(5)とは、朝廷が東北の人々をさげすんでつけた名です。

将軍につけられた征とは征服すること、夷とは野蛮人や未開の地を意味しています。

つまり、征夷大將軍とは、野蛮人を征服するための将軍のことで、都から遠く

離れて戦うために、朝廷が全権(その地の支配権)をあたえた一時的な役職です。

そして、この役職は後に源頼朝(鎌倉幕府)や足利尊氏(室町幕府)、徳川家康

(江戸幕府)のように、武士で政権をとった者に与えられるようになります。



(5)のリーダーの(6…人名をカタカナで)の抵抗は続きましたが、平安京の建設もあって国の財政が苦しくなった朝廷は戦いの中止を決断します。そして、朝廷と蝦夷による和平交渉によって、「蝦夷は、東北征服を受け入れる代わりに、朝廷は現地の統治をそのまま蝦夷に任せる」という内容で決着します。

朝廷は実より名を、蝦夷は名より実を取った形で、当時の東北地方は日本なのか蝦夷地なのか、よくわからない状況だったのです。その後、この地方の統治を任されたのが、蝦夷の長の中でも強い力を持っていた安倍氏です。

### 平安時代初期の仏教

東大寺大仏に代表される奈良仏教は、巨額の費用をかけたわりに「ご利益もなく、役に立たなかった」と判断されたようです。そこで、新しい仏教が取り入れられます。

805年

唐への留学から帰ってきた僧の(7…別名を伝教大師)が、平安京近くの滋賀県の比叡山に(8…右の?寺)を建てて天台宗を開きます。やがてこの寺は大きな勢力となりますが、のちにそれがじゃまになった織田信長によって焼き払われてしまいます。



806年

唐への留学から帰ってきた(9…別名を弘法大師)が、和歌山県の高野山に(10…?寺)を建て、真言宗を開きます。満濃池(ため池)の修復や「弘法も筆のあやまり」のことわざに登場する、民衆に慕われた僧として知られています。



これらの古都京都の文化財(延暦寺や平等院)や紀伊山地の霊場(金剛峯寺)や参詣道は、世界文化遺産に登録されています。

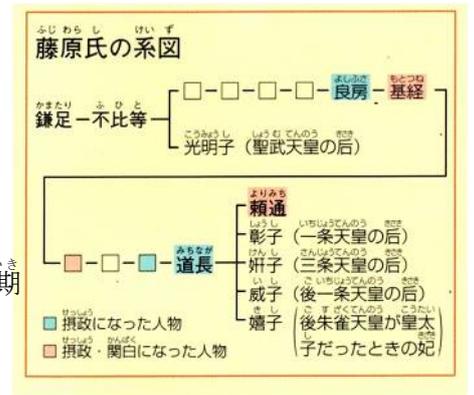
### 平安時代の政治

平安時代の半ばごろは、地方の豪族たちが、自分が開墾した(11…私有地)を都の有力な貴族や寺社に寄進(寄付)していた時代です。そして、豪族たちは管理人としてそれまで通りに荘園を支配して税を取り立て、貴族や寺社に納めたあとの残りは自分のものにしていました。それができたのは、地方の政治が国から派遣された(12)に任されていたためです。(12)は税を集めたり、その地域全体の資材を管理したり、裁判を行ったりと強い権限をもっていたのです。下は郡司や農民から朝廷に訴えられて国司をやめさせられたときの資料です。

国司の悪政についての農民の訴え…われわれ尾張国<sup>おわりのくに</sup>の者は、国司である藤原元命<sup>ふじわらのもとなが</sup>が3年間に行なった悪政31か条について、朝廷の裁きをお願いします。一.朝廷が定めているよりも多くの税を取り立てています。一.元命が役所の仕事をしないので、農民たちの訴えが通じません。一.元命は、都からの命令も自分に都合の悪いものは知らせません。

初めのころは朝廷に納められていた税も、やがて税をおさめなくてもよいとする(13…漢字で?の権)や、役人の立ち入りを断ることができる(14…漢字で?の権)の権利を獲得する荘園が増えていき、国の収入が著しく減っていきます。こうした中で、多くの寄進を受けて力をつけ、天皇をしのぐほどの権力をもったのが藤原氏です。

藤原氏は、大化の改新(645年)のときに中大兄皇子を助けた(15…後の藤原鎌足)の子孫で、藤原鎌足の子が文武天皇の命で大宝律令を編集した(16…名)で、その娘が皇族以外で初めて天皇の后になった(17…皇后)です。藤原氏は、自分の孫を天皇にして、天皇が幼いときは(18…漢字で)になり、天皇が成人してからは(19…漢字で)として実権をにぎっていました。当時は、子どもが生まれると母方の実家で育てるという風習があったため、母方の祖父と孫との結びつきは特に強かったようです。



藤原さん、道長くて頼通したの?

このような藤原氏の政治を(20…漢字で?政治)といいます。藤原氏の全盛期は11世紀前半の藤原道長とその子の藤原頼通の父子のころで、その始まりは866年に藤原良房が皇族以外で初めての摂政になったできごとです。887年には藤原基経が初代の関白になっています。なお、593年に推古天皇の摂政をつとめた(21…人物名)は皇族出身です。

1016年 長い道の10くから16んな人が貢物(荘園)

この世をば わが世とぞ思ふ 望月のかけたることも なしと思へば  
 訳…この世のすべてが、まるで自分のものようだ。欠けたところのない満月のように、わたしは満足している。



この年、上の歌を詠んだ(22…右絵の人物名を漢字で)が摂政になりました。そして、1017年には子の(23…漢字で)が摂政になっています。こうした藤原氏の力は強大なものだったため、全国の貴族や豪族たちが藤原氏との結びつきを求めておしかけたようです。藤村・藤田などの藤がつく苗字の祖先は藤原氏に関係していると考えられます。

まとめ…藤原氏がどのような方法で勢力をのばしていったかを簡単にまとめなさい。…(記述 3)

貴族の生活と国風文化

貴族の住まいは(24…?造)とよばれ、屋敷の内部の襖や屏風には風物を題材にやわらかな線で(25…?絵)が描かれていました。



左の作品は(26…?僧正)の作といわれている「鳥獣戯画」です。

このころの貴族は、朝はとても早く午前3時ごろ起きたといわれています。起きると自分の属する星の名前を低い声で7回となえました。当時の人々は、人は生まれながらに北斗七星のうちのいずれか一つに属し、その星の名前をとなえると福があると考えていたようです。

次に鏡をとって顔を見ます。そして暦を見て、その日がよい日なのか悪い日なのかを確かめます。次のように歯をみがき手を洗います。それがすむと西に向かって仏の名をとなえ、ふだん信仰している神をおがみます。そして、昨日のことを日記につけます。この後に食事ですが、正式な食事ではなく粥を食べます。正式な食事は、正午ごろと夕方にとるのがふつうで1日2食です。次に髪をくしでとかします。これは男なら三日に一度でよいそうです。次に手足の爪を切りますが、丑の日には手の爪、寅の日には足の爪を切るということです。お風呂には、だいたい5日ごとに入ります。ただし、入浴の場合は日を選ばなければなりません。毎月1日に入浴すると早死にし、8日に入ると長生きするといわれました。また、18日に入浴すると盗賊にあい、いのししの日に入ると恥をかかるといわれたようです。このように、平安時代の貴族の生活は日本の歴史の中でも、とても迷信の多いものだったようです。

貴族の正装は男子が(27…漢字)で、女子が(28…漢字)です。儀式や行事を行うことが貴族の仕事で、行事の中には今につながる節分や、七夕・(29…女の子の行事の?祭)などがあります。(29)は、自分の体の具合の悪いところを人形にたくして川に流した流しびながもとになっています。



(30…年) 道真の遣唐廃止で、国風894

中国が衰えているのを見て、「危険を冒してまで使いを送る必要もなく、中国から学ぶものはもう無い」と、醍醐天皇に進言して遣唐使の廃止を決めた人物が(31…人物名)です。右大臣の(31)は、あまりにも頭脳明晰だったがゆえに、左大臣の藤原時平の陰謀によって無実の罪を着せられて九州の(32…防人に関する役所)に左遷され、やがて亡くなります。



この人物が亡くなったあと、京の都で異変が相次いで起きようになり、これらはこの人物の祟りだと考えられました。そこで怨霊を鎮めなければならないと考えた朝廷は、彼の左遷を撤回し、さらに上の官位を授け、詫びに「天満宮」を建てて「天神」として祀ったようです。「大宰府天満宮」や「湯島天満宮(湯島天神)」にまつられ、受験生をはじめ多くの人たちが今もこの「学問の神様」に参拝しています。この人物が詠った「東風吹かば、匂いおこせよ、梅の花、主無しとて、春を忘るな」は有名です。

ひらがな	カタカナ
安 あ	阿 ア
以 む	伊 イ
宇 う	宇 ウ
衣 え	江 エ
於 お	於 オ

遣唐使が廃止されたことで、女文字といわれた(33…?文字)がつくられ、日本独特の(34…?文化)が生まれています。935年には古今和歌集を著した(35…人物名)が、かな文字で書かれた最初の文学の「土佐日記」を書いています。

土佐の国司の任期を終え、京へ戻るまでの55日間の紀行を、(35)が女の作者を装ってひらがなでつづったものです。男性の日記は漢文で書くのが当たり前であったため、国司に従って旅をした女性が書き表した作品という設定で書かれています。作品の中には57首の和歌も入っています。

物語では、かぐや姫の伝説をもとにした(36…?物語。作者不詳)や「今昔物語…作者不詳」がつくられ、随筆では、四季の変化を鋭い感覚でえがいた(37…右の人物)の「枕草子」があります。そして、1007頃に紫式部(左下の人物)が(38…作品名)を著しています。



紫式部や清少納言などのように、すぐれた多くの女流文学者たちがこの時代に生まれたわけを答えなさい。…(記述4)

このようにして、和歌や物語、随筆などの日本独特の文学が平安時代に発達したのです。

この時代は、藤原氏が自分の娘を天皇の后にして勢力を強めていった時代です。何人もの妃がいる天皇に愛されて子を産むためには、娘に幅広い教養を身につけさせることが必要でした。そのため、紫式部や清少納言などの優秀な女性を娘の家庭教師につけたのです。こうしたことが優れた文学作品が生まれた背景にあります。

### 武士のおこり

将門で関東地方はきな<sup>9</sup>3<sup>9</sup>、純友で瀬戸内海は<sup>9</sup>3<sup>9</sup>てたまらん

下総国(今の千葉県・茨城県の一部)の豪族の(39…人名)が起こした反乱を

平将門の乱(右絵)といいます。一族の土地争いがもとでしたが、その勢いは関東一帯におよび、(39)は自らを新皇(新たな天皇)と名乗り、一族の者を国司に任命しています。



そして、同年の(40…年)には伊予国(今の愛媛県)の役人であった(41…人名)が、瀬戸内海を率いて西国(西日本)を荒らしまわる藤原純友の乱がおこっています。これらから分かることは、この時代が各地で盗賊や海賊がはびこる治安の悪い社会であったということです。

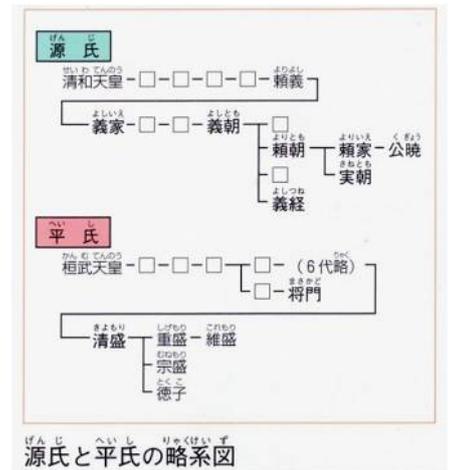
平安時代の朝廷は、死の穢れから逃れたい、血を避けたいと願う気持ちが強く、2官8省のうちの兵部省(軍隊にあたる)と行部省(警察や裁判所にあたる)をほとんど廃止したようです。国民の生活を守っている警察のような組織が無いのですから、治安が乱れるのは当然のことで、今では考えられないことです。こんな無謀なことができたのは、日本は周りを海に囲まれた島国だからと思われます。軍隊のない国は、必ず異民族の侵略を受けて滅んでしまいか征服されてしまったのが世界の歴史です。

こうした治安の乱れに対し、各地の豪族たちは自分の土地や財産を守るために、一族の者や農民に武器を持たせ、彼らとともに武芸にはげみましました。これが武士のおこりです。

始まりは小さな集団でしたが、やがて団結して武士団をつくりまします。また、武士団の頭(頭領)の多くは、都から地方に下って、そのまま住み着いた皇族や貴族の子孫たちです。

有力な武士団に清和天皇の子孫の源氏と桓武天皇の子孫の平氏があります。貴族たちはこうした武士を都によびよせ、自分たちの屋敷の警備にあたらせるようになります。さむらいというよび名は、武士が貴族にさぶらう者であったことからついたようです。

平将門や藤原純友の乱も武士の力をかりなければ鎮めることができなかったのです。そのことから分かることを答えなさい。…(記述5)



こうしたなか、1051年に今の岩手県のほとんど全部を支配する安倍氏が反乱をおこします。安倍氏は国司の命令に従わずに租税も納めないようになっていました。そのため、朝廷の命令を受けた源頼義と源義家源義家が清原氏の助けをえて、安倍氏を征伐する前九年の役前九年の役がおきました。この戦いの後、源氏を助けた清原氏が安倍氏に代わって、東北地方で大きな勢いをもつようになります。

ところが、前九年の役から20年ほど経った1083年に、清原氏に内輪もめ内輪もめがおこりました。源義家源義家は、その一方の清原清衡を助け、5年もかかって、やっとこの争いを鎮めました。この反乱を後三年の役後三年の役(秋田県)といっています。そして、もともと清原家ではなかった清原清衡は、父方の藤原氏を名のり、清原氏に代わって奥州(東北地方)を支配するようになりました。こうして奥州の主になった藤原氏は、三代にわたりおよそ100年間も栄えました。その栄華は、世界遺産になっている平泉(岩手県)にある中尊寺の金色堂中尊寺の金色堂(次ページの写真)から偲ぶことができます。

院政 藤原の力をとるために、院政は1086年、白河はん…関西弁で

11世紀後半になると、藤原氏と血のつながりのうすい(42…?天皇)が自ら政治を行い、武士を使って藤原氏をおさえるようになります。さらに、(42)の皇子の白河天皇白河天皇が、天皇の位を8歳の皇子に譲って上皇となった後も、政治の実権をにぎったままで藤原氏のおさえました。このときの(43…?上皇)の屋敷を院とよんだため、こうした政治を(44…漢字で?政)といっています。白河上皇がこうして院政をはじめた理由を簡単に答えなさい。…(記述6)

そして、これが始まると藤原氏の力は急速に衰えていきます。しかし、上皇が仏教をあつく信仰したために、ふたたび寺院の勢力が強まるようになってしまいました。



とくに、興福寺や延暦寺などの大寺院は、寺の要求を通すために(45)とよばれる戦いを専門とする僧兵を使って乱暴を働かせています。のちに源義経に仕える弁慶もこの僧兵です。そのため、院や朝廷は武士を使ってこれを防ごうとします。こうしたことも、武士が都で力をもつきっかけになっています。

資料は大きな権力を持っていた白河上皇が思い通りにならないものとしてあげたものです。なぜ、思い通りにならなかったかを答えなさい。…(記述7)

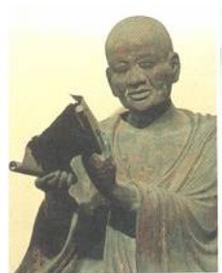
白河の院は、賀茂川の水、双六の賽、山法師、是れぞ朕が心に随はぬものと、常に仰せの有りけるとぞ申し伝へたる。(白河法皇は、たびたびはらんする鴨川(賀茂川)の水、流行しているさいころを使う賭け事、それに山法師が、自分の思いのままにならないものであると、いつもおっしゃっているということだ。)

(46…年) 保元は、そろそろ1156勝ち戦

京都で、崇徳上皇と弟の後白河天皇の戦いの保元の乱がおこり、平清盛と源義朝をしたがえた後白河天皇が勝利します。しかし、その後も実権をめぐる上皇と天皇が対立するようになり、藤原氏や源氏・平氏もそれぞれの一族の中で上皇方と天皇方に分かれて対立するようになります。

(47…年) 1159(よい時刻)に源氏に勝った平治(平氏)の乱、ランラン…by清盛

京都で、平清盛と源義朝の戦いである平治の乱がおこり、平清盛が勝利します。この後が平清盛の全盛期です。平清盛は1167年に(48…役職名)の位についています。今までは貴族の身分でないと就けなかった位です。そこに平清盛が武士として初めて就いて政治の実権をにぎったのです。そして、平清盛は、藤原氏と同じように自分の娘を天皇の后にして勢力を強めていきます。さらに、一族は朝廷の重要な役職を独占して多くの荘園を持つようになっていきます。また、兵庫の(49…今の神戸港の一部)を整備して、中国との貿易で大きな利益をあげています。このときの平清盛による貿易を(50…?貿易)といい、鎌倉時代の中頃まで続いています。中国は唐が滅亡した後、979年に宋によって統一されています。日本からは硫黄や刀などが輸出され、宋からは宋銭や陶磁器などが輸入されています。しかし、平氏一族の中に「平氏でない者は人ではない」というおごった者があらわれ、貴族やほかの武士たちの反感を買い、やがて滅亡へと向かうこととなります。



左は平清盛が瀬戸内海航路の安全を図るため、その守護神としてうやまい保護した(51…?神社)です。広島県にあり、世界遺産に登録されています。



あみだによらいぞう 阿弥陀如来像



平安時代後期の仏教

1053年、藤原頼通が京都府(52)市に(53…右写真)を建てています。この建物は10円玉の図案に使われており、ここにおさめられた阿弥陀如来像は定朝の最高傑作といわれています。



1124年、奥州の藤原清衡が岩手県(54…地名)に(55…建物名)を建てています。ここには、藤原氏(清衡・基衡・秀衡)のミイラが安置されています。奥州(東北地方)は金(砂金)の産地で、藤原氏の栄華が伝わってきます。

ここで信仰された(56…?教)は、10世紀半ばに空也という僧が説いたもので、その後、源信が『往生要集』を著したことからさかんになっています。阿弥陀仏を信じ念仏をとることで、死後は極楽に行けるとした教えで、これらの庭園は極楽のようすをあらわしています。これら京都や平泉の寺は世界遺産です。こうした仏教は飛鳥時代から見られたようですが、社会不安が広がった平安時代後期に特にさかんになっています。こうした影響を受け、阿弥陀仏をまつる阿弥陀堂建築が広まり、阿弥陀来迎図も多くつくられています。藤原道長が建てた法成寺や藤原頼通が建てた平等院(鳳凰堂)などがその代表です。